

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2021.5.1
No.185



令和3年市議会第1回定例会
一般会計220億2,000万円ほか
各会計の新年度予算案を可決

主な内容

- ◆ 定例会の審議結果 …… 2～4P
- ◆ 議会日誌・議会を傍聴しました
…………… 5P
- ◆ 令和3年度予算審査の概要
…………… 6～7P
- ◆ 委員会審査の概要
…………… 8～9P
- ◆ 市政一般に対する質問と答弁
…………… 10～17P
- ◆ お知らせ・編集後記
…………… 18P

（定例会の審議結果）

令和3年

第1回

定例会

一般会計220億2,000万円ほか各会計の新年度予算案を可決

令和3年2月24日に美濃加茂市議会第1回定例会が開会され、会期を3月23日までの28日間と決定しました。その後、総額220億2,000万円の令和3年度美濃加茂市一般会計予算を含む35案件（請願1件含む）が上程され、提案説明がありました。そのうち、美濃加茂市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について（議第5号）を含む計3議案については、質疑、採決まで行いました。また、請願については委員会付託し、散会しました。

第28日目（最終日）は、初日に採決した3議案を除く32議案について、各常任委員会及び予算決算特別委員会の委員長報告の後、討論（反対・賛成）、採決を行い定例会を閉会しました。

なお、議決結果は下記のとおりです。

新年度の主な事業

心体社会

健康



健康増進

女性若者活躍

多文化共生

産業振興

地域再生

防災減災

保健センター総務費(2億3,187万1千円)

手狭となり、老朽化が進んでいる現保健センターから、建設中の中部国際医療センターの附属施設内の一部を区分所有し、令和4年1月に移転。



ふるさと農産物育成事業(381万8千円)

産地としての振興を図るため、国内外における販売促進活動等を実施。また、民間のECアンテナショップを活用して生産者の販路拡大を実施。



情報教育推進事業(4,443万7千円)

文部科学省が推進するGIGAスクール構想によって整備された一人一台タブレットを活用し、日常的なICT教育の中で「わかる・できる・楽しい授業」づくりを推進。



古民家活用交流促進事業(2,538万9千円)

寄附を受けた古民家を活用した地域内外の人を巻き込んだワークショップの開催等により、関係人口の創出につなげ、里山地域への移住定住促進を目指す。



多文化共生推進事業(1,380万7千円)

地域、企業・事業所、行政が、第3次多文化共生推進プランに挙げられた役割を果たしつつ多文化共生社会づくりを推進する。また、国際交流事業やインバウンド推進の拡充も図る。



美濃太田駅周辺市街地再開発事業(5,101万7千円)

美濃太田駅周辺における市街地再開発の実現に向けて、将来基本構想に基づき、推進計画の策定と周辺道路の都市計画決定の変更等の事業を実施。



インバウンド推進事業(1,928万4千円)

外国人旅行者向け体験プログラムの販売支援、電動アシスト自転車や多言語翻訳機の活用により、外国人観光客と観光消費の促進による地域経済の活性化を図る。



地域防災力強化事業(2,326万8千円)

災害に対する危機意識と市民の防災・減災の意識を高める事業を行う。また、防災力の強化・維持を図るため、防災施設や防災備品を整備する。



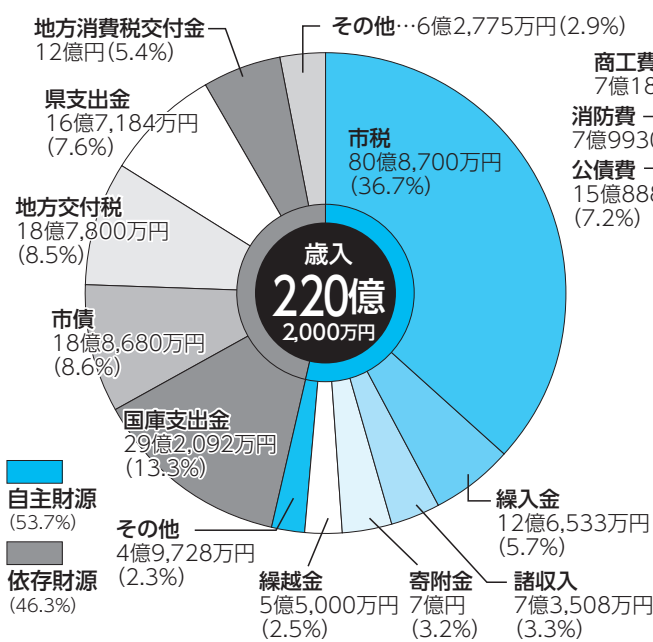
（定例会の審議結果）

令和3年度は、これまでにない厳しい財政状況の中、新型コロナウイルス感染症を克服し、第6次総合計画に掲げる重要施策を実質的にスタートする、極めて重要な1年であると認識しています。第6次総合計画では、「すべての健康のために、歩き続けるまち」を基本構想に掲げ、市民・団体・企業・行政が一体となって、「歩き続ける」ことを共通の目標としながら、「心の健康」、「体の健康」、「社会の健康」を整えることで、未来へつなげる持続可能なまちづくりの実現を目指しています。

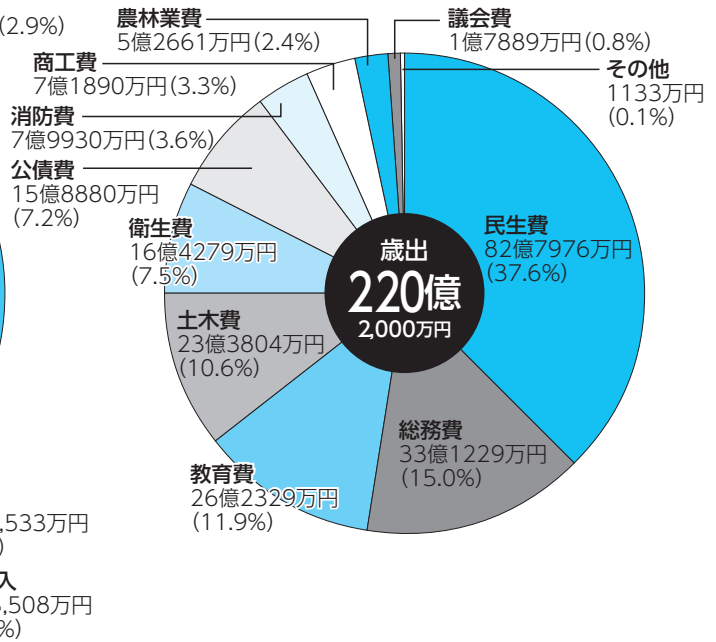
令和3年度の予算案では、この基本構想を実現していくため、「健康」という視点に「自然」と「交流」をプラスした「健康プラスライン」を加えるとともに、引き続き基本計画に掲げる6つのまちづくり宣言を重点施策に掲げ、効果的に事業を推進してまいります。
(新年度予算説明から抜粋)

一般会計予算

一般会計予算の歳入



一般会計予算の歳出



※金額は千円単位を四捨五入、割合は小数点第2位を四捨五入しています。

議案の審議結果

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名																
			永田徳男	田口智子	坂井文好	酒向信幸	渡辺孝男	牧田秀憲	渡辺義昌	村瀬正樹	高井厚	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	森厚夫	山田栄	
議第6号	美濃加茂市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議第7号	美濃加茂市介護保険条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議第19号	令和3年度美濃加茂市一般会計予算 予算総額220億2千万円（前年度比-4.6%）	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議第20号	令和3年度美濃加茂市国民健康保険会計予算 予算総額51億4,105万4千円（前年度比+0.5%）	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議第21号	令和3年度美濃加茂市介護保険会計予算 予算総額39億7,469万5千円（前年度比+1.8%）	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議第22号	令和3年度美濃加茂市後期高齢者医療会計予算 予算総額6億3,857万3千円（前年度比-2.9%）	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
請第1号	安心・安全な市民生活のため、新型コロナウイルス対策の一層の拡充を求める請願について	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×

（定例会の審議結果）

議案の審議結果

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
承第1号	専決処分の承認を求めることについて 令和2年度美濃加茂市一般会計補正予算（第15号）	4億2,943万1千円の増額、予算総額は322億2,284万4千円
承第2号	専決処分の承認を求めることについて 令和2年度美濃加茂市一般会計補正予算（第16号）	3億3,946万1千円の増額、予算総額は325億6,230万5千円
承第3号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市介護保険条例及び美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、所要の改正を行ったもの
議第1号	美濃加茂市役所連絡所設置条例及び美濃加茂市生涯学習施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	伊深交流センターの移転に伴い、所要の改正を行うもの
議第2号	美濃加茂市情報公開条例等の一部を改正する条例について	情報公開請求及び保有個人情報開示請求に対する審査請求の手続きを見直すことに伴い、所要の改正を行うもの
議第3号	美濃加茂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	規定する者の見直しに伴い、所要の改正を行うもの
議第4号	美濃加茂市収入印紙等購買基金条例の一部を改正する条例について	郵便切手の取り扱い廃止に伴い、所要の改正を行うもの
議第5号	美濃加茂市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	医療保険のオンライン資格確認制度の開始に伴い、所要の改正を行うもの
議第8号	美濃加茂市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第9号	美濃加茂市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第10号	美濃加茂市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第11号	美濃加茂市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第12号	美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第13号	美濃加茂市中部台地住居地域地区計画及び工業地域地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	都市政策部新設に伴い、所要の改正を行うもの
議第14号	美濃加茂市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	公共下水道事業の全体計画を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの
議第15号	令和2年度美濃加茂市一般会計補正予算（第17号）	7億6,574万2千円の増額、予算総額333億2,804万7千円
議第16号	令和2年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第2号）	262万2千円の増額、予算総額51億3,037万4千円
議第17号	令和2年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第2号）	9,553万3千円の増額、予算総額40億4,934万3千円
議第18号	令和2年度美濃加茂市下水道事業会計補正予算（第1号）	業務の予定量の補正、資本的収入及び支出の補正、企業債の補正
議第23号	令和3年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計予算	予算総額3,890万6千円（前年度比+3.2%）
議第24号	令和3年度美濃加茂市古井財産区会計予算	予算総額156万4千円（前年度比-2.5%）
議第25号	令和3年度美濃加茂市山之上財産区会計予算	予算総額117万6千円（前年度比-4.7%）
議第26号	令和3年度美濃加茂市水道事業会計予算	予算総額22億7,752万2千円（前年度比-8.3%）
議第27号	令和3年度美濃加茂市下水道事業会計予算	予算総額42億7,467万2千円（前年度比-2.5%）
議第28号	（仮称）美濃加茂市立新古井保育園整備事業設計・建設等の請負契約の変更について	工事追加に伴う請負契約の変更
議第29号	市道路線の認定について	西町526号線、本郷700号線の認定
議第30号	美濃加茂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	任期満了に伴う委員の選任（大谷茂樹氏 再任）
議第31号	美濃加茂市議会委員会条例の一部を改正する条例について	都市政策部新設に伴い、所要の改正を行うもの

（定例会の審議結果）

議案 クローズアップ

議第1号

美濃加茂市役所連絡所設置条例及び美濃加茂市生涯学習施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について



新しい伊深連絡所・伊深交流センター

議案の概要

伊深連絡所の建替えに伴い、交流センター及び併設する連絡所の位置を変更し、交流センターの部屋の区分及び使用料を改めて定めるもの

〈改正の主な内容〉

伊深連絡所・伊深交流センターの位置の変更

改正後の位置…美濃加茂市伊深町927番地1

区分	金 額			
	8:30～ 12:30	13:00 ～17:00	17:30 ～22:00	8:30 ～22:00
会議室1	600円	600円	600円	1,800円
会議室2	800円	800円	800円	2,400円
会議室3	800円	800円	800円	2,400円
会議室4	600円	600円	600円	1,800円
調理室	800円	800円	800円	2,400円
多目的室	400円	400円	400円	1,200円

交流センターの使用料

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・GIGAスクール構想。後期高齢者にとっては考えの及ばない教育方法であり、珍しさと共に期待大であります。市の未来を担ってくれる人を育ててほしい。
- ・新しい医療センターに伴う新保健センターの充実に夢ふくらむ思いです。自ら健康に気を付け、明るい未来を満喫したい。
- ・コロナ対策として議長席他2カ所にアクリル板が設けられました。議案がたくさん提出され、その提案理由がくわしく説明されました。これらの説明を聞きながら、市が未来へ向かって確実に進みつつあるというイメージが浮かび、非常に心強さを覚えました。
- ・今回は新型コロナウイルス対策（特にワクチン接種）についての質問に関心がありました。緊急事態宣言は解除されましたが心配です。感染防止対策を重点的にお願いします。
- ・美濃太田駅南地区の計画、市民に分かりやすく広報して欲しい。

議 会 日 誌 (主なもの)

2月

- 3日 新型コロナウイルス対策協議会
全国市議会議長会 理事会・評議員会合同会議（書面会議）
- 5日 岐阜県市議会議長会議（書面会議）
- 9日 給食センター運営委員会
- 12日 東海市議会議長会理事会（書面会議）
- 15日 議会運営委員会
- 16日 新庁舎建設特別委員会
新型コロナウイルス対策協議会
- 17日 国民健康保険運営協議会
- 19日 議会運営委員会
- 22日 高齢者施策等運営協議会（書面会議）
- 24日 市議会第1回定例会（～3月23日）
議会だより編集委員会

3月

- 1日 美濃加茂市富加町中学校組合議会定例会
 - 4日 可茂地域一部事務組合議会定例会
 - 11日 企業誘致推進委員会
 - 23日 新庁舎建設特別委員会
 - 26日 議会だより編集委員会
- 4月
- 1日 市職員辞令交付式
 - 7日 新型コロナウイルス対策協議会
議会だより編集委員会
 - 9日 (仮称) 新古井保育園安全祈願祭
 - 15日 議会だより編集委員会
 - 22日 東海市議会議長会定期総会・理事会（書面会議）

（ 予算審査の概要 ）

令和3年度予算審査の概要

全議員で構成する「予算決算特別委員会」が、一般会計など各会計の予算について、前年度との比較や新規事業の内容、また、議会による事業評価（議会からの提言）が反映されているかなど、慎重にチェックしました。

《市一般会計予算》

問 市庁舎等施設管理・改修事業における工事請負費の詳細は。

答 旧給食センターの解体費用であり、除却後の跡地については、民間への売却を考えている。



旧給食センター

問 ふるさと納税推進事業の寄附金に占める経費の割合は。

答 経費の割合は5割以内とされており、令和元年度実績では、約46%となっており、残りを基金に積み増ししている。

問 新庁舎整備事業の詳細は。

答 駅周辺のまちづくりとして、市街地再開発と一体的な整備に合わせて新庁舎整備を進めていく。アドバイザーについては、これまでの基本計画等に携わっていただいた方をお願いしたいと考えている。委託業務として、事業手法を明確にし、スケジュールや財源等を検討していくための実施計画を策定するための委託料や、商業ビル内のテナント等への補償について算定する調査費を計上している。補助メニューの検討や、庁舎機能なども検討したい。

問 旧伊深村役場庁舎活用事業について、委託料が大きく減少した理由は。

答 令和2年度は地域の文化を発信する業務として計上していたが、思うような成果が得られなかったため、新年度は、地域との連携や活性化などに

重点を置くこととし、委託業務としては計上しなかったためである。

問 家族支援支給事業の介護慰労金支給事業についての詳細は。

答 要介護3以上の要介護者を6か月以上継続して在宅で介護している方を対象に、1回当たり3万6,000円を最大年間2回支給するものである。

問 結婚相談事業の詳細は。

答 社会福祉協議会に委託して実施するもので、まち・ひと・しごと創生総合戦略の女性活躍と連携しながら進めている。

問 児童虐待予防対策事業の児童相談システム導入の詳細は。

答 家庭児童相談員の対応状況の記録を職員間で情報共有を図るもので、国の情報共有システムと連携できるシステムを構築する。閲覧権限については、こども課、家庭児童相談室や、子育て世代包括支援センターの職員が想定されるが、教育委員会との連携についても検討したい。

問 24時間電話相談窓口事業の詳細は。

答 4月から定住事業として加茂圏域で名称と電話番号を1本化して実施する。相談員は、医師、助産師、保健師、看護師、ケアマネジャーや臨床心理士等が含まれており、24時間体制で、5部署が対応にあたる。相談員の研修も随時行っており、新しい情報を習得し相談対応できる体制になっている。

問 ごみ収集事業において、事業費が令和3年度は減少となっている理由は。

答 ごみ収集袋の在庫数が確保できているため、ごみ収集袋作成委託料を減額したことによるものである。

（ 予算審査の概要 ）

問 児童保育費の病児保育事業広域利用負担金の詳細は。

答 岐阜市、関市、各務原市、可児市、坂祝町の5市町と相互利用の協定を結んでおり、本市から5市町の施設で病児保育を受けるもので、今年度の実績としては、2月末現在で26件である。最も多いのが関市の17件である。

問 ふるさと農産物育成事業のECサイト構築等事業費補助金の支援の詳細は。

答 サイト構築時だけではなく、立ち上げから3年間に限定し、独り立ちできるよう販売促進や新たなコンテンツ作成などに対して支援したい。

問 シティプラザ費中、工事請負費が令和2年度予算と比較して減額となった理由は。

答 当面の大規模改修が終了したことと、駅周辺の整備計画等との調和を図り、安全面と快適面の確保に必要な予算を計上したためである。

問 敬老事業の敬老祝金が増額となった理由は。

答 県内の他市の状況を調査し引き上げた。

問 SDGs未来都市の採択に向け、事業費が当初予算に計上されているか。

答 現在、内閣府に対して応募を行ったところであり、今後、未来都市モデル事業の選定がなされると考えている。市街地再開発推進計画については、採択された段階で補正予算の措置をして、推進を図っていききたい。

問 美濃太田駅周辺市街地再開発事業の詳細は。

答 令和3年度に市街地再開発推進計画を策定し、令和4年度の早い段階で都市計画決定ができればと考えている。市街地再開発推進計画については、新庁舎整備と連携した計画になる。

中心市街地活性化基本計画策定についても、駅南から中山道までの区域の一体的な活性化を図るため、内閣府の支援を受けながら進めている。

問 空家等対策事業について、事業費が増加となった理由は。

答 平成29年に空家等対策計画を策定した。その計画が令和3年度までの5年間であるため、更新するための費用を計上したためである。

問 消防団準中型自動車運転免許取得費補助金の詳細は。

答 法改正により、平成29年3月以降に免許を取得した方は3.5トン未満の車両しか運転できないため、ポンプ車が運転できるよう免許を取得するための経費の一部を補助するもので、4名分を計上している。



消防車両

問 小学校及び中学校施設営繕工事において、35人学級への対応を検討しているか。

答 現在の見通しでは、古井小学校、加茂野小学校及び東中学校で教室が不足する。特別教室等を普通教室に変更するなどして対応したい。

問 学校運営協議会事業の詳細は。

答 令和3年度に2校が設立となる。推進委員は教育委員会内に所属し、コミュニティスクールを推進する中心となっていただく。この協議会の運営が軌道に乗れば学校評議員会は廃止する方向で考えている。会議は年3回程度計画している。

《市介護保険会計予算》

問 生活支援コーディネーター事業委託料の内訳は。

答 人件費が1,000万円ほどで、そのほか、普及啓発のためのチラシの印刷や生活支援関連事業者をまとめたパンフレットの作成の事務費として計上している。

《市下水道事業会計予算》

問 下水道事業の使用料収入の算定の基礎となる件数と、併せて水道事業の水道料金収入の基礎となる給水件数は。

答 見込みとして、下水道事業の排水人口は約4万8,000人、件数では1万4,000件強、水道事業の給水戸数は約1万8,000件である。

（委員会審査の概要）

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《 》は議案名、◆は主な内容、（ ）は補正金額

企画建設常任委員会

《令和2年度市一般会計補正予算（第15号）》

◆ふるさと納税推進事業（4億円）

問 ふるさと納税の経費率の内訳は。

答 ふるさと納税の経費率については、総務省より50%以内にするという通知を受けており、当市の経費率は約46%である。内訳は、返礼品が約30%、返礼品の送料が約4%、ポータルサイトの利用料が約7%、クレジットカード手数料などその他の事務手数料が約5%である。

◆広告宣伝等販売促進助成事業（162万9千円）

問 広告宣伝等販売促進助成事業の申請件数は。

答 申請件数は全部で290件あり、内訳は、新聞・チラシ広告費が142件で約49%、看板等の制作が101件で約35%、ウェブ・ホームページ開設等が26件で約9%、その他が21件で約7%であった。

◆岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金負担金（2,025万円）

問 次に起きた場合に備え、ベーシックインカムを取り入れる考え方があるが、その詳細は。

答 ベーシックインカムとは、各事業者者に最低保証額をあらかじめ給付し、申告等による当該年の所得に応じて後日金額を調整するというものである。

《市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について》

問 今回の改正は、全体計画の見直しによるものなのか、町名変更や地方自治法の改正によるものなのかどちらであるのか。

答 今回は、全体計画の見直しによる改正であり、町名等が変更されていなかった箇所については併せて変更を行ったものである。また、今後町名等が変更されれば、基本的にはその都度条例改正することになると考える。

問 各事業区分の計画処理人口が増加し、計画一日最大汚水量が減少する理由は。

答 人口については今回の計画期間は増加すると予測しているが、汚水量については、一般家庭のみならず、営業、観光、工場など汚水量を区分けして計算しており、工場については、マイナス2,439 m³を見込んでいる。また、一般家庭についても、節水型のトイレ等の設置が進んでいるため、全体では減少傾向で計画をしているものである。

《令和2年度市一般会計補正予算（第17号）》

◆中山道観光推進事業（50万円）

問 指定管理施設等運営支援交付金として中山道会館に交付する50万円の根拠は。

答 県の新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の支給を受けることができなかった指定管理施設に対して市で交付金の要綱を定め、一事業者当たり50万円支給するものである。また、損失見込み額が50万円を上回る場合は加算するが、中山道会館は上回らなかったため50万円の交付である。



太田宿中山道会館

《安心・安全な市民生活のため、新型コロナウイルス対策の一層の拡充を求める請願について》

・主な賛成意見

この新型コロナウイルスは、発症する前から感染が広がっており、市内の病院でも大規模クラスターが発生した。現在、第3波は収まりつつあるが、1月の時点で中濃圏域の療養施設が満床になったという報道もあった。第4波や第5波が懸念され、ワクチンもいつ届くのか不透明な状況であるため、市民

（委員会審査の概要）

に対してPCR検査を実施し、陽性者への治療を進めることが必要であると考え、命と暮らしを守るためにも本請願を意見書として取りまとめ、国と県への提出を求める。

・主な反対意見

PCR検査は検査を行った時点での判定に過ぎず、次の日に感染する可能性もあり効果があるとは考えにくい。また、57,000人の市民を検査するには相当の日数、労力が必要であり、4回ほど実施しないと100%の結果が判定されないため、1回の検査費用を15,000円とすると、総額で30数億円の費用がかかることになる。本当の予防という意味では、マスクの着用や消毒、手洗い、密接を避けるなどの基本的な対策を、ワクチン希望者全員が接種できるようになるまで徹底することが重要である。

文 教民生常任委員会

《令和2年度市一般会計補正予算（第15号）》

◆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（739万円）

問 集団接種を行うための準備はどのように行われるのか。また、高齢者の前に先行接種する医療従事者のワクチンが間に合わないという報道が出ているが、高齢者用のワクチンを医療従事者に回す考えはあるのか。

答 3月20日に医師会の方々に対して事業説明会を行い、27日には西体育館において集団接種のシミュレーションを行う予定である。

医療従事者への接種については、県と医師会が進めているため、連携を取りながら進めていく必要があるが、市としては国や県の方針に従い、4月12日から高齢者に対してワクチン接種が行えるよう準備を進めていくものである。



ワクチン接種シミュレーション

《市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について》

問 **みのかも西デイサービスセンターの指定管理を外す理由は。すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンターは指定管理を更新したが、その違いは何か。また、無償貸付で行う妥当性は何であるか。**

答 みのかも西デイサービスセンターあじさいについては、竣工から約20年経過しており、備品や施設整備に費用がかかってくることを審議して更新しないと決定した。すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンターについては、総合福祉会館と一体的な構造となっていることや、竣工からの経過年数の違い等により更新したものである。

有償譲渡、有償貸付、無償譲渡、無償貸付の4通りの方法で検討し、有償譲渡、有償貸付の場合は、建設時に国や県から補助金を受けているため、約3,800万円の補助金の返還が生じ、無償譲渡の場合は、社会福祉法人が無償譲渡に関する条例に該当する団体でないため、最終的に無償貸付という形を選択した。

《市介護保険条例の一部を改正する条例について》

問 **改正内容をどのように市民に周知するのか。**

答 高齢者福祉計画や介護保険事業計画をホームページに掲載したり、その概要版を配布するなどして周知する。また、介護保険料の特別徴収の方には4月に、普通徴収の方には7月に届く通知書にて周知を行う。

《令和2年度市一般会計補正予算（第17号）》

◆人に優しいまちづくり基金積立金（101万7千円）

問 **人にやさしいまちづくり基金積立金の詳細は。**

答 この基金は寄付された方が、高齢者から子供までのみなさんと一緒に食事するなど、にぎわいの創出を目的とした基金である。

《(仮称)美濃加茂市立新古井保育園整備事業設計・建設等の請負契約の変更について》

問 **契約金額が増額となった理由は。**

答 当初の計画では、開発区域は園舎と園庭部分であったが、県との協議の結果、駐車場部分も加えることになり、駐車場南側道路の拡幅と、排水用の側溝を改修する工事が追加されたためである。また、2次避難所の機能として電気自動車からの受電設備、井戸の整備も追加したため増額となった。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）

市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登場し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、そちらもご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



牧田秀憲議長

■ 美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



■ 視聴方法 トップページ ▶ 会議名一覧 ▶ 令和3年第1回定例会 ▶ 3月8日・9日・10日 一般質問
■ 会議録検索システム <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



片桐美良 議員

新年度予算案について

問 施政方針と重点施策は。

答 「心・体・社会」の健康を推進する、第6次総合計画に掲げる重要施策を実質的にスタートする極めて重要な1年である。市内の公園を南北と東西に結んだ「健康プラスライン」を設定し、効果的に事業推進する。また、重点施策として市街地再開発事業と新庁舎整備事業を一体とした事業推進をするため、次のステップに進むための予算を計上した。

新庁舎整備事業と市街地再開発整備事業について

問 今後の市民説明会の持ち方は。

答 コロナ禍の状況の中で、いつ、どの段階で開催するかを決定するに至ってないが、次回の市民説明会では、2つの事業と一体的に新庁舎整備を進めていくという方針を明確に示し、市民のみなさんに理解いただけるよう丁寧に説明していきたい。

問 美濃太田駅南地区南地区街づくり準備組合の設立時期は。

答 令和3年度の早い時期に準備組合設立に向けて準備が進められていると聞いている。

問 市街地再開発事業との体制づくりは。

答 「新庁舎整備推進室」を新設し、市街地再開発事業と情報交換や意見交換をしながら、未来のまちづくりに積極的に取り組んでいきたい。

農業ビジョンと里山×STEAMについて

問 農業ビジョンにおける、里山印ブランドの農薬や化学肥料の使用基準は。

答 農薬や化学肥料、農機の使用等による二酸化炭素の排出ゼロを頂点としながらも、例えば、竹チップ肥料の使用等、里山千年構想の取り組みも加味しながら、生産者の皆さんの負担等も考慮して段階的に設定していきたい。

問 環境保全と災害対策として、水田がもっている洪水緩和機能を人為的に高める「田んぼダム」普及の考えは。

答 多面的機能支払交付金制度も活用できることから、生産者の皆さんや県とも十分協議のうえ普及について提案していきたい。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



高井 厚 議員

GIGAスクールの展開について

問 インターネットと接続もするので、そのセキュリティ対策は。

答 2つの対策をする。1つは、タブレット本体にセキュリティをかけること。将来的に自宅等へ持ち帰って使用することも考えると、この対策は必須と考える。ウイルスに感染したメールを受信拒否し、有害サイトの閲覧規制や不適切なアプリケーションをブロックする「フィルタリング機能」も備えている。

もう1つは、学校で使用する場合にセキュリティをより高めるため、プロバイダーに美濃加茂市専用のサーバーを設置し、ファイアウォール機能、迷惑メール対策機能、ウイルス対策機能を含む「統合脅威管理 (UTM)」と呼ばれるセキュリティ対策を施してある。

問 盗難や事故防止など、タブレットを日常的にどう管理していくのか。

答 盗難対策として、各教室に設置した「電源キャビネット」に収納し、鍵をかけて保管する。休み時間は、机の引き出しの中に入れて保管する。放課後下校する際には、電源キャビネットにしまい担任が施錠する。タブレット自体は衝撃に強い本体のものとなっているが、スクリーンや本体の破損、パソコン機能の故障などが生じた場合は修理をし、その間は予備のタブレットを貸与する。

児童生徒には、「学習用タブレット活用のルール」を守り、正しく安全に利用することを指導するとともに、大切に使うよう指導していただくよう、保護者にも協力をお願いする。

問 指導者のスキル向上に向けた研修計画は。

答 各学校に年5回、専門家からの研修を位置づけた。4月の初めに1回、残りの4回は学校のニーズによって、時期や内容を決めて実施する。市が主催する情報教育担当者への研修は年3回計画し、各学校の進捗状況も交流する。

この他、市教育センター、県教委、校内の自主研修も実施する。互いに学び合うことで、教師のスキルアップにつなげていきたい。



金井文敏 議員

障がいのある方等への就労支援について

問 テレワークオフィス事業の考えは。

答 「誰ひとり取り残さない」の考えのもとに、障がい者の皆さんにとって、より働きやすい「テレワークによる就労」について、市内事業者の皆さんとも共有しながら、積極的に、取り組んでいきたいと考えている。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 高機能換気設備導入促進に対する補助は。

答 このシステムは吸気・排気ともにファンにより強制的に行うことで確実な換気が可能となり、熱交換により温度変化の抑制ができるので、県の補助事業を活用されるよう周知に努める。

問 二酸化炭素濃度計の公共施設への配置は。

答 感染対策として有効であるので、各施設の利用状況を踏まえ、必要性に応じて測定器の導入を図っていく。また、災害時の避難所開設に伴う避

難所内の換気のタイミングを把握するために、各1次避難所への配置を行う予定である。

新型コロナウイルスワクチン接種対策について

問 非接種者への誹謗中傷対策は。

答 新型コロナウイルスのワクチン接種は、集団免疫をつくる観点から努力義務と位置付けられているものの、接種によるメリットよりも、接種のデメリットの方が上回る接種不相当者や慎重な判断が必要となる接種要注意者がおられる。予防接種を受けないことに対して誹謗中傷を受けないよう実態把握や啓発活動を行っていく。

問 接種後の副反応への正しい理解と対応は。

答 予防接種を受ける方は、自分の意思で接種を決めていただく。副反応については、救済制度を設けており、接種券発送時にチラシ等で情報を伝え、接種会場にも掲示する。また、接種後副反応が発生した時のために、救急セットの準備とスタッフ用マニュアルを整備する。



ワクチン接種における副反応発生時の訓練

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



永田徳男 議員

コロナ禍での学校授業について

問 コロナ禍での学校授業の対応は。

答 2020年は、リモート授業としては実施できなかったが、先生手作りの配信が学校と子どもたちをつなぎ、期待や希望を与えたと考えている。次年度からは、家庭とつながりオンライン授業が可能になる環境になる。この授業方法は、人と人がつながる有効な手段であり、周辺機器の整備が整い教師からの説明、資料の示し方など、スキルアップして対応できると考える。

問 学校での「クラスター対策」の対応は。

答 学校生活では、常にマスクを着用し一定時間同じ人と向き合って会話することもなく、外に出た後やトイレの後などの手洗いは十分に行っている。唯一マスクを外す給食時間にも、一言も会話をしないことが「クラスター」を発生させないと考えられる。市内において、校内で感染した事例はなく、県内でもほとんどない。

コロナ対策の経済支援について

問 今後経済環境が厳しいと予想される、業種に対する助成制度の考え方は。

答 今後しばらくの期間は、withコロナ期が続くと考えられ、“三密”の回避等「新しい生活様式」の実践のため、飲食、宿泊、タクシー事業者等の旅客運輸、旅行業等の業種において厳しい経営環境が続くと予測される。関連として、農業者、飲料及び食料品等、飲食店と直接または間接に、取引のある事業者の皆さんも厳しい状況が続くと思われる。これら事業者の皆さんに対し、今回、国の一時支援金制度が創設され、商工会議所等が確認機関として対応し、今後もこのような制度の周知徹底を図る。例えば「ベーシックインカム^{*}の導入」等で、“スピード感”と“公平性”の両立を図り、事業の根を涸らさないよう積極的に取り組みたい。

^{*}ベーシックインカム (basic income)

最低限の所得を保障する仕組み。国民に対して政府が最低限の生活を送る為に必要な額の現金を支給する政策で、保証を一元化して「国民生活の最低限度の収入を補償する」ことが目的



渡辺孝男 議員

脱炭素社会について

問 本市として脱炭素社会（気候変動）をどのように考えているか。

答 「再生可能エネルギー発電所^{*1}」の設置や「グリーン購入^{*2}」を活用した電力供給等を促進させることがCO₂削減につながり、脱炭素社会の実現に資すると考えている。「一般廃棄物処理基本計画」で、課題となっている「生ごみの処理」について、ひとり一人における「スプーン一杯の水切り^{*3}」を推奨しており、これを社会運動にすることもCO₂削減につながる。脱炭素社会を実現するためには、環境面ばかりではなく、SDGsの政策理念である「経済・社会」も含めた大きな力が必要となり様々な分野の皆さんと一体となり、全力で取り組んでいきたいと考えている。

デジタル化に向けて

問 マイナンバーカード取得率向上もデジタル化の

一つと考えるが取得率を上げる方策は。

答 取得率を上げるため、専用窓口の開設と閉庁時の臨時窓口の開設など環境を整えた。また、市役所開庁時のカード受け取りを予約制にしていたが、今年から日曜日のみ予約制とし、平日は別の用事で立ち寄った時でも予約なしで受け取ることができる窓口体制とした。今後は「マイナンバーカードの申込み方法が分からない」や「写真を撮るのが面倒である」等の市民の声を解消するため、交流センターやショッピングセンター、イベント会場などに特設窓口を設け、写真撮影から申請まで支援ができる体制を考えている。



マイナンバーカード専用窓口

^{*}1再生可能エネルギー発電所…石油や石炭など、有限な資源である化石燃料によるエネルギーとは違い、太陽光や風力など資源が枯渇せず繰り返し利用できるエネルギーにて発電する施設

^{*}2グリーン購入…製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性を考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること

^{*}3スプーン一杯の水切り…生ごみを捨てる際に、スプーン一杯分の水分量を水切りしてから捨てることで、ごみを燃やす時間等が短くなりCO₂削減に繋がる

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



村瀬正樹 議員

美濃太田駅周辺市街地再開発事業について

- 問 総事業費に対する本市の補助割合は。
- 答 事業内容により大きく異なってくるが、基本計画案での試算では、国と市がそれぞれ約20%前後、県が5%前後になるのではないかと考えている。
- 問 本事業には、人口動態・空き店舗数の増加・歩行者・自動車の通行量・地価の低迷や駅前に居を移す利点のなさ等、多くの課題があると思うが、どのように考えるか。
- 答 この市街地再開発事業は、地域の皆さんにとっては、駅南地区の事業環境や生活環境、防災環境の向上とともに魅力を生み出し、賑わいを取り戻すための重要な事業となる。ご指摘の課題等を解決することにつながっていくことを期待している。
- 問 破綻例があるが、万が一の場合の処理は。
- 答 令和3年度に策定する推進計画でも、そのあた

りは十分に精査する予定である。万が一となる場合の原因の想定などについても、今後検討しながら身の丈にあった再開発を行うことにより、将来の見直しを含め、関係権利者の合意を得た上で、岐阜県の認可が受けられる実現性のあるしっかりとした計画の策定を行うことになると考えている。

- 問 新庁舎を駅前に整備するという前提で計画が策定されようとしているが、整備地はまだ決定されていないので、本計画は時期尚早ではないか。
- 答 現段階では、まだ新庁舎の位置は正式には決定されていないが、美濃太田駅南地区街づくり協議会の前身である、美濃太田駅前を考える会では駅南口の整備についてまとめられ、市に要望されている。
- 今後、各種検討や手続き、組合の設立などを経て市街地再開発事業の完了までにはまだまだ長い期間と多くの業務を必要とする。新庁舎整備や公共公益施設の計画などの連携が、まちづくりや事業運営に対して非常に重要な事項の一つと考えている。新庁舎を駅周辺に整備することによる効果を検討項目に入れることを時期尚早とは考えていない。



渡辺義昌 議員

GIGAスクール構想について

- 問 GIGAスクール構想とは。
- 答 子どもたちが何を学ぶかは、学習指導要領に示された内容について学ぶ。学び方の一つとして、タブレットを活用する。本市は、里山STEAM構想に立ち、自然とICTとを関連付けた取り組みも考えている。
- 問 タブレットを使った事業はいつからか。
- 答 新年度早々に教職員への研修を実施、保護者への概要説明は3月中に行い、入学、進学時に保護者からの申請と同意をいただき、保護者への貸与とする。4月12日までに手続きを完了し、活用を始める予定です。当分の間は、学校で教員の管理の下で使用することを考えている。校内で使い方について学び、慣れてきたら自宅への持ち帰りについて検討する。
- 問 自宅にWi-Fi環境がない場合は。
- 答 貸出用ルーターは、臨時休校となった場合にタ

ブレットを自宅に持ち帰る場合を想定して259台備えている。ルーターは無償で貸し出しするが、通信費は保護者負担と考えている。

マイナンバーカードについて

- 問 本市の交付状況は。
- 答 2月末時点で11,074人に交付し、人口の19.3%の交付率となっている。
- 問 マイナンバーカードの健康保険証としての活用は。
- 答 各健康保険機関や医療機関などにより、マイナンバーカードによるオンラインでの資格確認等のための対応が図られており、令和3年3月からプレ運用を行い、本格運用は3月下旬予定である。
- オンライン資格確認の導入を申し込まれた医療機関や薬局は、厚生労働省の2月14日時点の全国集計によると、全医療機関等の30.8%にとどまっており、岐阜県の申込率は33.4%となっている。
- 問 今後のマイナンバーカードの利用計画は。
- 答 令和4年度からは、ハローワークカードやジョブカードとしての活用、令和6年度末を目標に運転免許証との一体化が計画されている。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



坂井文好 議員

公共施設等開設に伴う連携強化について

問 新保健センターが中部国際医療センターに隣接して開設（令和4年1月）されるが、医療と保健の連携はどのようなカタチで強化させるのか。

答 「健康寿命日本一」を目指す健康増進の拠点として、新保健センターの開設準備を進めている。中部国際医療センターは数多くの認定を受けた公的病院であり、第2次救急医療機関として24時間体制で地域住民の命を守り、また、健康診断や健康増進施設などの予防事業も手掛ける地域の要となる医療機関である。

子育て世代包括支援センター及び母子保健事業の一環として妊娠期から出産、産後といった時期のケアを連携することで強化し、不安など抱えている問題を早期にキャッチし、信頼関係を築きながらタイムリーに支援していく。また、健診事業や健康増進施設と連携する中で、生活習慣病の早期発見早期治療、重症化防止のみならず発症予防

の保健指導にも力を入れていく。

健診受診率の向上や個々の生活習慣改善プログラムの提供と継続フォローを実施し、生活習慣病を改善していくと同時に当市全体の健康等のデータを分析し、予防につながる施策を展開し、健康なまちを構築していく。

問 リオラも新保健センターへと移転するが、子育て支援センターと新保健センターとの連携はどのようなカタチとなるのか。

答 保健センターは、体や心の健康について気軽に相談したり、学んだり、健診などで健康を確認したりすることができる場で、健康づくりの推進やサポートをしていく所であり、子育て支援センターは、子育てに関する不安や、身体的・心理的負担の増加など保育士等が専門的な視点で相談に乗りアドバイスを行う所である。

例えば、働きたいけれど子育てが心配、あるいは健康面が心配などの相談を受けることがある場合には、各センターの専門職員につなぐなど、これまでより連携が取りやすい環境になると考えている。



田口智子 議員

ヘルステックを活用した健康まちづくりについて

問 美濃加茂市・社会医療法人厚生会・(株)フィリップス・ジャパンの「官・医・民」の三者連携でのヘルステックを活用したプロジェクト、美濃加茂モデルの健康まちづくりの内容は。

答 本市は、社会医療法人厚生会と平成29年に中部国際医療センターと、医療および福祉の先進地「メディカルシティ」として連携を発表した。健康的な生活・予防・診断・治療・ホームケアという一連のケアサイクルでソリューション提供を行い、ヘルスケア分野での官民連携における官民連携の実績を多く持つ(株)フィリップス・ジャパンを中核に、最先端の医療体制や里山などの環境を活かして推進する。

問 山手小学校、太田小学校の歯と口腔内の健康づくりの取り組みは全日本学校歯科保健優良校を受賞している。子どもたちの健康データを収集・分析してはどうか。

答 子どもの頃から歯科ケアを重視している当市においては、それらのデータを活用した効果的なメニューの実践など、幅広い様々な活動が期待される。



小学校での「集中歯磨き」の様子

中学校の制服について

問 コロナ禍で新しい生活様式が求められている中、今後の制服の在り方を生徒や保護者、教師と検討する機会、自ら選んで着ることのできる制服、ジェンダーレス*制服への対応も必要では。

答 中学校では様々な生活・活動様式の変化の一つに、ジャージ中心の登下校と日常生活もある。新型コロナウイルスの感染の落ち着きとともに、教育委員会や学校は従前に戻す部分と新たに打ち出す部分と見通しをもって考えていく必要がある。様々な観点からの議論が必要な為、慎重に対応していく。

*ジェンダーレス…性差のない、またはなくそうとする考え方

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



山田 栄 議員

美濃加茂市都市計画マスタープラン（2020年～2039年）の20年間の「まちづくり」の重点戦略「まちなかのリニューアル」による課題について

問 都市機能を集約する地域の再開発は美濃加茂市のまちづくりの力になると考えるが、今後の市街地再開発事業等の推進方針について伺う。

答 中心市街地の活性化を図るためには、駅南地区のみならず、駅周辺エリアの整備とそれを賑わいにつなげる活動を、民間と行政が連携して行うことが重要であると考えている。

特に、駅南地区の市街地再開発事業は、中心市街地の活性化に大きな影響があるものと考えており、美濃太田駅周辺整備将来構想で掲げたまちづくりのテーマである「健康的な美濃加茂市の顔となるまち」を目指し、食、歩、住、というキーワードを市街地再開発事業においても重点的に推進することを考えている。

そのために、新年度に設立される予定の市街地

再開発準備組合と連携しながら事業の推進を図ることとなる。市はまちづくりの目標をしっかりと共有しながら、健全財政で事業を進めることが重要であり大前提であると考え、市にとっても組合にとっても、身の丈に合った再開発事業となるよう連携して進めていきたいと考えている。

問 太田地区の公共施設等（商業ビル、中央図書館、プラザちゅうたい、現庁舎、分庁舎、保育園）の今後の整備及び利活用について伺う。

答 平成29年3月に策定した「美濃加茂市公共施設等総合管理計画」では、公共施設等のマネジメントの5原則として「統合・複合化」「民間連携」「健全財政」などの基本原則に基づき、公共施設の在り方を定め「再配置・長寿命化計画」を策定している。

各施設の老朽化度や将来人口などを考慮した総合的な施設マネジメントに取り組むとともに、都市計画マスタープランや立地適正化計画などの、まちづくりの基本となる各種計画との調整を図りながら、都市機能としての公共施設の在り方を検討していきたい。



柘植宏一 議員

森喜朗氏の女性差別発言について

問 市長の所感は。

答 森氏の発言はこれからのジェンダー平等社会を目指すうえで、時代に逆行するものだと思う。性別にかかわらず多様な様々な価値観において、自分らしく笑顔でいられると感じられることが最も大切であると考えている。

新型コロナウイルス感染症について

問 死亡者多数を伴う木沢病院の大規模クラスターに対する認識および対応は。

答 大規模なクラスターでは、厚生労働省のクラスター対策班が原因特定のために調査に入り、指導をしていく。市としても県が公表する情報以外に持ち合わせていないため、不確定な情報を伝えることはできない。医療機関等でクラスターが発生した場合の支援策としては、施設従事者が家庭内感染を予防するためホテルに宿泊する場合の宿泊

費の補助などを検討している。

問 ワクチンの介護関連従事者の優先接種について伺う。

答 施設内のクラスター対策をより一層推進するため、高齢者施設での接種とタイミングを合わせて施設の従事者への接種も実施していく。

精神保健福祉について

問 大人の引きこもりの解消対策は。

答 「心と暮らしの相談窓口」では、大人の引きこもりに関する相談に応じており、現在49名の支援を行っている。当事者への定期的な面談、社会参加支援、就労に向けた支援のほか、家族に対しても孤立化を防ぐため、家族の苦悩や自責感を共感するなどの支援を行っている。

問 発達支援センター設置の時期等の検討状況は。

答 庁内の連携を推進するための会議体として関係部署の部課長で構成される発達支援連絡会議とその下に実務者会議を設置し、発達支援に関する機能を強化するための発達支援センターの整備に向け次年度から検討を進め、古井第一保育園の統合後、その跡地での整備に向け準備を進めていく予定である。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



酒向信幸 議員

小規模特認校について

問 本市は平成29年4月からこの制度を導入した。制度開始から4年が経過したが現状について伺う。

答 伊深小学校は1年生から6年生まで、今までに13人の児童が利用し、うち2人は伊深町内へ引越して来られた。現在は11人が利用している。また、三和小学校は、1年生から4年生まで5人の児童が制度を活用して通学している。

問 制度の利用促進のため、保育園・幼稚園への積極的なPRと共に説明会が開催され、保護者への周知がされているが、PR方法等、周知について伺う。

答 市立保育園には、年度の初め頃に各園で開催される親子交通安全教室など、年長の保護者が会する機会に伺い制度について説明している。また、私立の保育園や幼稚園には、通園している美濃加茂市の年長児の保護者にチラシの配布のお願いを

依頼している。

9月中旬に、制度に関心のある保護者を対象とした説明会を開催し、制度についてより詳しく説明するとともに、伊深小、三和小での生活の様子や、両校の特色ある取り組みについて紹介している。

また、それぞれの学校の保護者や地域の方、ときには制度を利用している児童に、学校や地域の魅力について紹介してもらっている。

更に興味を強く持たれた場合には、保護者と児童本人に、実際に学校見学の場で、より一層学校生活について体感していただくようにしている。

問 これまでには説明会等を通じてこの制度に興味を持っていただいたが、決断には至らなかった方もいたと思われる。来年度は5年目に入るが、この制度を継続するための今後の取り組みについて伺う。

答 教育委員会としては、引き続きこの小規模特認校制度を継続していくが、新1年生だけでなく、途中の学年でもこの制度を利用できることを含め、幅広く周知していきたいと考えている。



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 新庁舎建設問題を考える会からの、3,723名の署名についての所見は。

答 新庁舎整備の課題については、市民の皆様へ情報が十分に伝わっていないことを改めて痛感している。今後、市民説明会などを通して、正確で分かりやすい説明をしながら、理解いただけるように努め、最終的には新庁舎建設特別委員会での議論を経て、整備場所や庁舎の規模などを決定していきたい。

問 現シティホテル建設候補地の問題点として、防災拠点とならないのでは。

答 非常用発電設備等の重要な施設については、3階以上に配置するなど、防災機能を維持する工夫を行う。

問 庁舎、駐車場が分散されて不便になるのでは。

答 健全な財政を維持する観点から、既存ストックを活用していく。駐車場については、新庁舎1

階部分や周辺に約100台の駐車スペースを確保する。

問 民間のビル、駐車場を長期間借用しなければならないのでは。

答 公用車及び来庁者の駐車場は、市が所有する敷地に確保する。にぎわい創出のために必要な駐車場については、民間駐車場を借用することも想定しているが、市が常に駐車場を確保する必要があるかについて十分な調査をしていく。

問 新庁舎建設とまちづくりを同時に進めることによる、まちのにぎわいの創出について伺う。

答 美濃太田駅周辺将来基本構想に沿って進める。現在、進められている市街地再開発事業は面的な整備をしていく事業であり、まちづくりの拠点・市民活動の拠点として位置づけている新庁舎を一体的に考えていくことは、まちのにぎわいの創出の推進という点で、大きなメリットがある。

問 「美濃太田駅周辺に建設」という結論ありきで進められているのでは。

答 新庁舎整備基本構想の策定時や、市民ワークショップ、市民アンケートなど多くの方の意見をいただきながら、未来のまちづくり委員会での中間答申や最終答申に繋がってきている。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



前田 孝 議員

新型コロナウイルス対策について

- 問 本市にクラスターが大量に発生している要因は。
- 答 医療機関で発生したクラスターについて、感染拡大経路は厚生労働省のクラスター対策班が疫学的調査をしているが現時点では確定していない。
- 問 ワクチン接種対象者の人数及び開始時期は。
- 答 対象となる16歳以上の人口は47,939人で、医療従事者の後の優先対象者は65歳以上の高齢者13,181人で、時期は4月12日から開始する。

美濃太田駅南地区再開発事業について

- 問 開発地域の規模（区域・敷地面積・建物構成）は。
- 答 開発計画区域は、市道太田駅前線から西側エリアの一部を基本計画案として想定している。区域全体面積は約9,700㎡の2区画を予定。市道太田駅前線に面した区画は約5,700㎡で商業棟と住宅棟を一体的に配置し、商業棟に店舗事務所・公共

公益施設を配置した6階建て、住宅棟は16階建て約100戸の計画案になる。また、市道立石新屋敷線より西側の区画は、約2,000㎡の自走式立体駐車場（4層5段で200台）と駐輪場（140台）になる計画案である。

- 問 開発に関する国・県・市の補助はどのくらいか。
- 答 市街地再開発事業では、土地や共同施設の整備費が補助の対象となる。全体事業費に対する割合は、試算では国と市が20%、県が5%前後になる。

新庁舎建設について

- 問 第2回目の市民説明会実施の予定は。
- 答 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施時期を考えている。市民説明会は新庁舎整備に関して重要なプロセスであると認識している。
- 問 「新庁舎建設問題を考える市民の会」からの署名簿提出についての市長の見解は。
- 答 会の代表からご指摘をいただいた新庁舎整備の課題については、特別委員会で議員と議論を重ねているが、市民の皆様は客観的で正確な情報が伝わっていないということで、市民説明会などで皆様に正確で分かりやすい説明を行い、理解していただけるよう努める。



森 弓子 議員

新庁舎建設計画について

- 問 駅前再開発事業との同時進行と、民間ビルを市の施設として活用する場合のメリットは。
- 答 新庁舎は、単に職員のワークスペースではなく、まちづくりや市民活動の拠点として位置づけていくべきだと考えている。そのため庁舎単体ではなく、面的にまちづくりを推進していくことが、未来の美濃加茂市につながる。再開発事業において、民間ビルに公共公益施設の整備を検討する場合には、国の支援制度を積極的に活用したい。市が単独で整備するよりも安価に整備利用できることや、柔軟な施設利用も期待できる。

環境基本計画について

- 問 6月の環境月間の啓発活動内容とプラスチックごみの減量の啓発は。
- 答 まちを美しくする運動推進会議の皆さんと、美濃太田駅北側の商業施設や、ぎふ清流里山公園な

どで、花の種や水切りネットと合わせて、ゴミ減量とリサイクル推進や海洋プラスチック削減に関するパンフレットの配布などを行う。

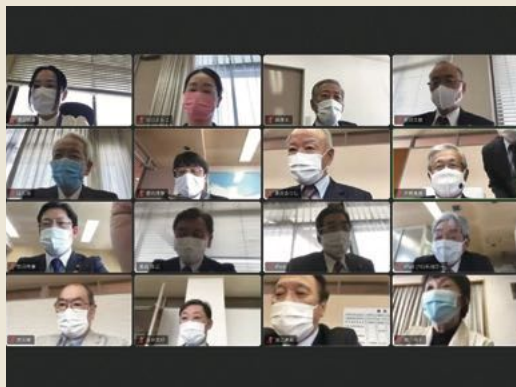
コロナ禍での子育て応援策について

- 問 買い物支援として、赤ちゃんの紙おむつ、おしりふきなどの支給の考えは。
- 答 自宅にこもる生活が続くことで、ストレスが高くなっている子育て中の保護者の声を聞いている。乳幼児健診や相談事業等で、少しでも安心して子育てができるように支援をしたい。買い物支援についても子育て世代包括支援センターとして検討していく。
- 問 里山千年構想の「木のおもちゃ購入補助事業」は利用者が少ないので、希望するすべての赤ちゃんに木のおもちゃを支給できないか。
- 答 木のおもちゃを支給する、いわゆる「ウッドスタート」については、里山千年構想を推進する中で、本市で誕生されたことをお祝いする魅力的な取り組みである。森林環境譲与税等を活用して、コスト面や課題を整理しながら、障がい者の皆さんにも関わっていただく「林福連携」の要素も考慮して、前向きに検討していく。



活動
ピックアップ

オンライン会議の勉強会を行いました



令和3年4月8日（木）に、新型コロナウイルス感染症拡大防止や災害時などを見据えて、市議会議員全員でタブレット端末によるオンライン会議の勉強会を行いました。

今回は、議員が各部屋に分かれて、ミーティングルームへの入室手順から実際に発言するまでの流れを勉強しました。

今後も定期的に勉強会を開催し、自宅からでも会議に参加できるような体制を整えていきたいと考えています。

本会議の様子は、

議会中継でチェック！

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひご視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>



美濃加茂市議会 議会中継

検索

次の定例会の予定

令和3年市議会第2回定例会

- 6月 7日(月) 初日
- 15日(火) 一般質問
- 16日(水) 一般質問
- 17日(木) 質疑
- 25日(金) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から（最終日は委員会終了後）

※日程は都合により変更となる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

第1回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんに作っていただきました。

次回の議会だよりは、令和3年8月1日を予定しています。

ご意見ご感想は、市議会ホームページ（ご意見・アンケート）、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

編集後記

今回の市議会定例会において、総額383億6,816万円（一般会計220億2,000万円）の2021年度予算が可決され、第6次総合計画で掲げられた「市民の心・体・社会の健康増進」の具現化が実質的に始まりました。そして、ワクチン接種も段階的に進められ、オリンピックの聖火リレーも始まり明るい兆しも見えてきました。

コロナ禍によって新しい生活様式や働き方の改革が求められる中、この限られた予算が確実に実行され、成果あるものになるよう引き続き注視し、チェック機能を果たしてまいります。

坂井 文好